今期決算について

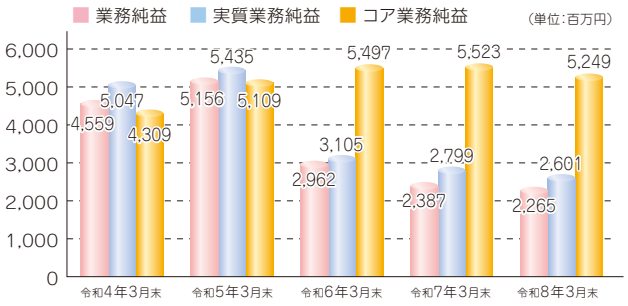
令和7年度決算は、業容の拡大および市場金利上昇を受けた運用金利の引き上げに努めましたが、資金調達費用の増加やポートフォリオ改善のための国債等債券売却損、経費の増加により、業務純益は前期比減益となりました。一方で株式等売却益を計上しましたが、個別貸倒引当金繰入額の増加により、経常利益、当期純利益は前期比減益となりました。

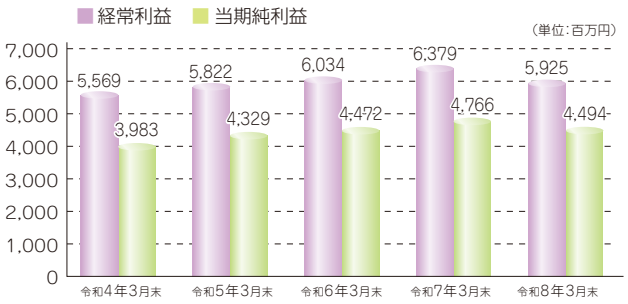
なお、自己資本比率は国が定める健全性の基準である4%を大きく上回る16.49%となり、経営体質は極めて健全な水準となっております。

今期決算に関する事項

業務純益	2,265百万円（前期比 5.10%減）
実質業務純益	2,601百万円（前期比 7.09%減）
コア業務純益	5,249百万円（前期比 4.95%減）
経常利益	5,925百万円（前期比 7.12%減）
当期純利益	4,494百万円（前期比 5.71%減）

■利益の推移





極めて健全な経営体質

「自己資本比率」とは、貸出金などの資産（各資産についてそれぞれのリスクの割合に応じて一定率を乗じたもの）に対する自己資本の割合で、金融機関の健全性を表すとともに、体力の強さを示しています。

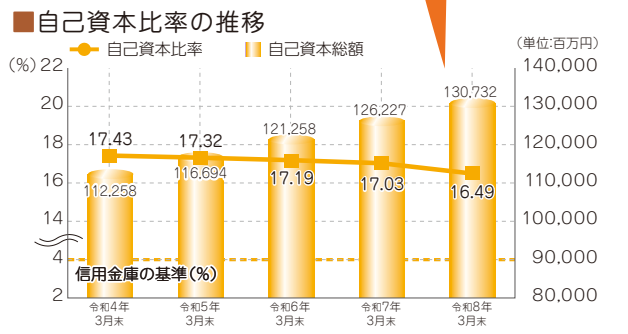
信用金庫の自己資本比率は、法令により「4%以上」であることが求められていますが、≪にししん≫の令和8年3月末の自己資本比率は16.49%と、基準の4%を大きく上回っており、経営体質は極めて健全です。

なお、資産から繰延税金資産（1,897百万円）を除いた場合でも、自己資本の額は128,834百万円、自己資本比率16.25%となり、何ら問題のない水準であることを申し添えます。

［用語解説］繰延税金資産：税効果会計の適用により、将来回収が見込まれる税金の額を表したものです。

自己資本比率は 16.49%
自己資本総額は 1,307億円

■自己資本比率の推移



（1）自己資本調達手段の概要

当金庫の自己資本は、出資金、資本剰余金及び利益剰余金等により構成されております。令和8年3月末の自己資本額のうち、当金庫が積み立てているもの以外のものは、地域のお客さまからお預かりしている普通出資が該当します。

（2）自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当金庫は、これまで、内部留保による資本の積上げ等を行うことにより自己資本を充実させ、経営の健全性・安全性を充分保っていると評価しております。なお、将来の自己資本の充実策については、年度毎に掲げる収支計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積上げを第一義的な施策として考えております。

預金積金に関する事項

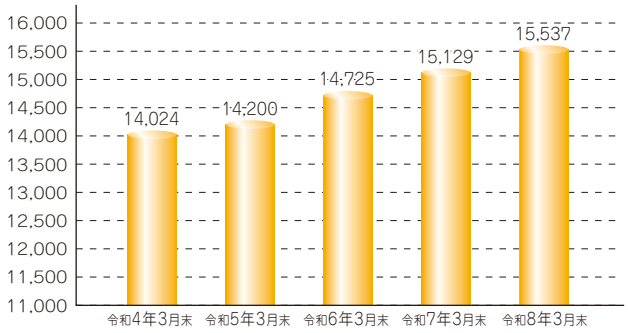
預金積金残高 1兆5,537億円（前期比 408億円、2.69%増）

お客さまの大切な財産の運用をお手伝いするために、目的や期間などに応じたいろいろな商品やサービスを取りそろえ、安全かつお気軽にご利用いただけるよう努めています。

お客さまからお預かりしている預金積金残高は、1兆5,537億円となり、年間増加額は408億円、増加率2.69%となりました。

なお、お客さまのニーズにお応えできる各キャンペーン商品を提供しました。

■預金積金残高の推移



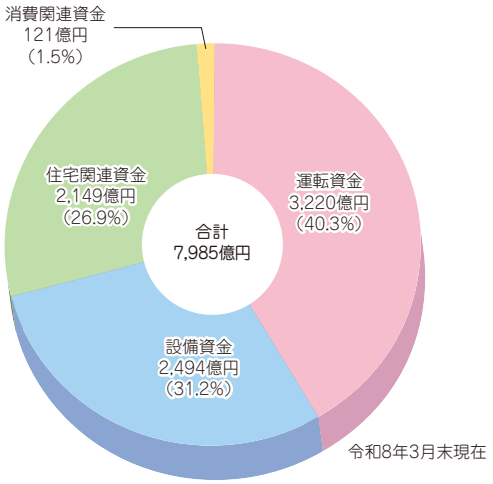
貸出金に関する事項

貸出金残高　7,985億円（前期比 236億円、3.05%増）

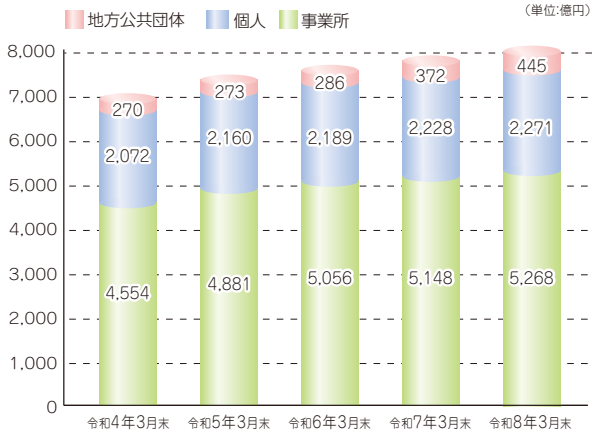
地元の事業者のお客さまや個人のお客さま等への貸出金は7,985億円で、預貸率（預金積金に対する貸出金の割合）は51.39%となりました。

事業者のお客さまには、設備・運転等の事業資金、個人のお客さまにはマイカーの購入、住宅の新築・増改築などの資金に、また、地方公共団体には公共施設の整備等の資金としてご利用いただくなど、お客さまの様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するために、円滑な資金供給を行う形でお客さまや地域社会に還元しています。

■使途別貸出金残高



■人格別貸出金残高

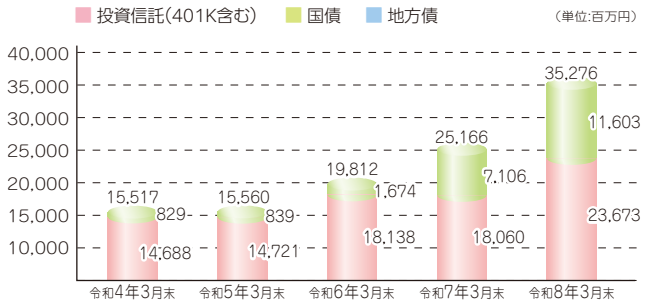


また、貸出金のほかにも、お客さまの資金ニーズにお応えするために、私募債も取扱っています。

地域のお客さまからの預かり資産

投資信託など預金積金以外もお取扱いしております。

■預かり資産残高



貸出以外の運用に関する事項

有価証券残高	**6,082億円**
預金積金に対する有価証券の割合	**39.14%**

お客さまからお預かりした預金積金は、融資による運用のほかに預け金、有価証券等への運用も行っています。

預け金の大半は信金中央金庫への定期預け金です。有価証券は、国債・地方債・公社公団債・高格付の事業債など安全性・流動性の高い債券での運用に努めています。

■有価証券残高の推移

